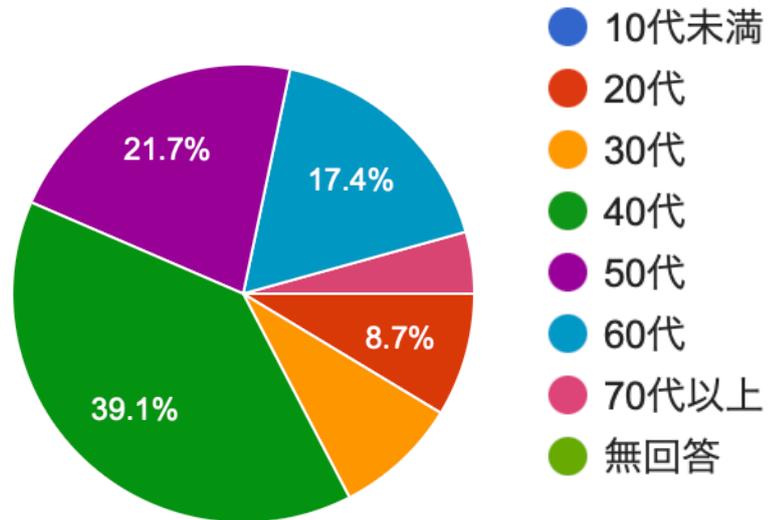


令和7年度政策要望アンケートへの回答（2024年8月～9月実施）

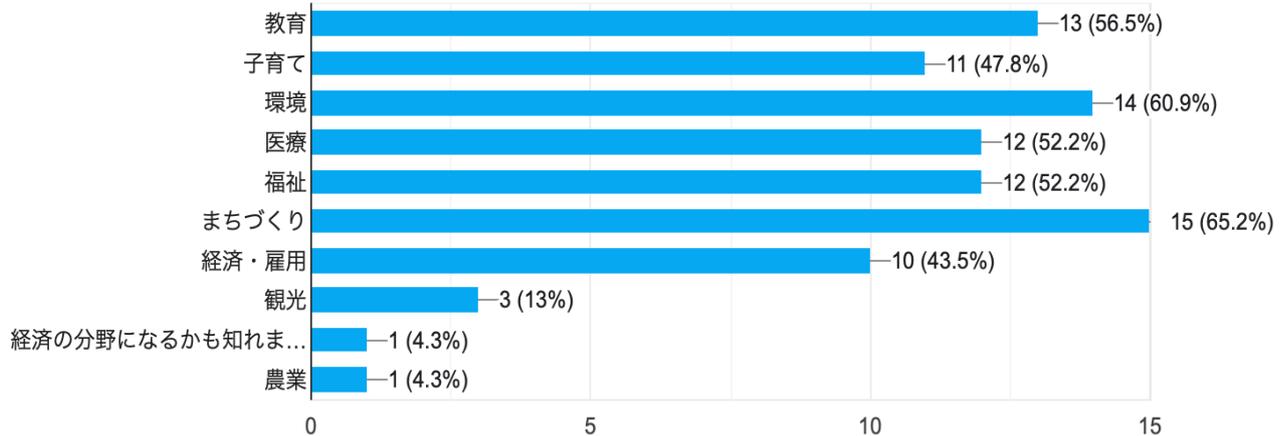
Q1

あなたの年齢を教えてください

23件の回答



Q2 恵庭市のどの分野の政策に関心がありますか？



Q3 現在の恵庭で、お困りのことや改善してほしいことがありますか？具体的に記載をお願いします。

3-1 伐採木の無料配布をしていることがあるが、広報恵庭や市役所のホームページに記載があるだけで気が付けない。また、申込みも平日電話のみのため仕事をしているとなかなか申し込むこともできない。登録によるプッシュ型での告知や、平日電話以外の申込みをさせてほしい。情報発信の分かり難さについては一般的に言えることで生活の中で伝わらないのではと思う。

恵庭市では公式ラインアカウントを開設しています。登録すれば、情報の受信だけでなく、チャットボットによる自動応答機能を活用したごみ分別の確認や位置情報の送信機能を活用した通報機能、各種相談窓口等の予約も可能です。今後各種手続きも随時対応していく予定ですが、より使い勝手の良い内容に充実させていくことが重要だと思います。是非、実際に公式ラインを利用した感想をお寄せいただければと思います。



← 恵庭市公式ラインへの友だち登録はこちらから

3-2 恵庭駅の近くにはえにあすがあって、恵み野駅や、島松駅の近くにも勉強できるような場所がほしいです。

現在、恵み野駅周辺では、柏陽地区複合施設整備計画が、島松駅周辺では島松地区複合施設整備計画が進められています。

島松地区では、複合施設の整備に向けて、事業者の公募・選定を進めています。この事業では島松駅周辺の賑わい創出を1つの目的としており、誰もが集まれる・活用できる空間の整備を進めることとしています。機能としては図書館機能のほか、交流機能として、これらの中で学習の空間を事業者に提案してもらうこととしています。現時点でのスケジュールは、令和9年（2027年）3月からの利用開始を予定しています。

柏陽地区複合施設は、市営住宅の建設と一体的な事業として進められており、複合施設は令和9年10月から利用開始となる予定です。10月に委員会で示された中間報告では、交流スペースとして150㎡が計画されており、ここに自習スペースが設けられる予定です。

(仮称)島松地区複合施設整備・管理運営事業に係る事業者を公募型プロポーザルにより募集します(2024年10月16日更新),恵庭市ウェブサイト

https://www.city.eniwa.hokkaido.jp/kurashi/sangyo_business/nyusatsujoho/proposal/19566.html

柏陽地区複合施設整備基本計画策定支援業務公募型プロポーザルの実施について(結果公表), 恵庭市ウェブサイト

<https://www.city.eniwa.hokkaido.jp/soshikikarasagasu/kikakushinkoubu/machiseibi/hakuyou/18236.html>

3-3 島松駅前通りの商店に活気がまるでなくなってしまっている。活性化するようなお店を誘致するなどして活気づいた街並みを見てみたい。

駅前の賑わいづくりは、市だけで実現できるものではなく、市と事業者との役割分担で進めていくものと考えています。

市としてできることは、将来を見据えた都市計画の策定や、人が集まる拠点の整備ということで、現在、島

松駅前広場の整備や島松駅前複合施設の整備を進めています。

駅前通りでいえば、市が所有している土地は限られていることから、市が自ら事業者を誘致することは合意形成の点からも難しいものと思います。なお、都市計画の中では、立地適正化計画を策定し、計画に都市機能誘導区域の位置付けを行うことで、商業、医療、福祉などを民間事業者が整備する際に優遇措置を講ずることができるようになります。市民と歩む会では以前から立地適正化計画の策定を提案してきましたが、現時点では、立地適正化計画は策定されていません。

市としては、商店街に対する支援や、起業や創業の支援を行っており、恵み野商店街では、各種イベントの実施など、活性化に取り組んできた結果、空き店舗にも新たな店が入る好循環につながっています。

島松においても複合施設整備後に、新規出店の流れができるよう、起業の次のステップを応援できる仕組みを提案していきたいと思います。

3-4 小学校の給食で牛乳を飲むか飲まないかを選択制にして欲しい。完食するのがえらいとされ、嫌いなのに(身体に良くないのに)飲んでいる。

アレルギーや乳糖不耐症によって牛乳が飲めないお子さんについては、代替としてお茶を提供しています。栄養価については、管理栄養士によって牛乳も含めて計算されていますが、特別な理由がある場合には、学校の養護教諭と保護者とのやり取りの中で、牛乳の代替としてお茶を選択することが可能かもしれません。一度学校に相談してみてもいいでしょうか。

3-5 ゼロカーボンシティの実現に向けた動きが活発化してほしいです。

恵庭市は、令和4年(2022年)6月、脱炭素社会の実現に向けて、令和32年(2050年)までに温室効果ガスの排出を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指すことを宣言しました。

市民、事業者の取組については、アクションプラン(※1)を策定し、生活の中でどんなことを行えばどれだけの温室効果ガスが削減されるかについて、具体的な例と削減量をまとめています。

一方、市としての具体的な取組については、第5次地球温暖化対策実行計画事務事業編(※2)に沿って、市が所有し、または管理する施設のほか、指定管理する施設または業務委託により管理している施設におけるエネルギー使用に伴う温室効果ガス排出量について、令和6年(2024年)度までに、平成25年(2013年)度の排出量に比べて25.9%削減を目指しています。

実行計画の進捗状況は、市ホームページへの公表により毎年度公表します(※3)。

また、市では環境審議会の取扱案件の中で脱炭素に特化した専門部会を設置して、各界(産業・学術・金融・行政)からの専門的・総合的な知見を基に検討していく予定です。

さらに推進するために、私たちの会派は、公共建築物を中心とした断熱改修や地中熱利用の取組を積極的に推進するよう提案しています。またその管理や業務を委託している施設においても、民間事業者ゼロカーボンへの取組を積極的に働きかけることも必要だと思えます。公募型プロポーザルで事業者選定をする際に、セ

ロカーボンへの取組を選定項目にすることや、委託後のモニタリングの評価項目に加えるなど具体的な取組を求めています。市が積極的な姿勢を市民に示すことが、ゼロカーボン実現に向けて何よりも重要だと考えます。来年度予算に向けての政策要望に盛り込みました。

(※1) 恵庭市ゼロカーボンアクションプラン, 恵庭市ウェブサイト

<https://www.city.eniwa.hokkaido.jp/material/files/group/1/zerocarbon-action-plan0001.pdf>

(※2) 第5次恵庭市地球温暖化対策実行計画(事務事業編), 恵庭市ウェブサイト

<https://www.city.eniwa.hokkaido.jp/material/files/group/8/dai5jizimujigyoyouR512.pdf>

(※3) 第5次恵庭市地球温暖化対策実行計画(事務事業編) 令和4年度実績報告書, 恵庭市ウェブサイト

<https://www.city.eniwa.hokkaido.jp/material/files/group/8/R04daigojjikkoukeikakujissekihokoku2.pdf>

3-6 エコバスを使うと電車の時刻と合わず、不便です。

南高の夜間から帰る時のバスの時間とか、もう少しその辺を時刻表を考えて作ってほしい。

エコバスについては、バス停の設置場所やダイヤについて市民から要望が寄せられています。以前議会では、恵庭南高等学校校定時制の終業時刻がエコバスの最終便に間に合わないという問題を取り上げました。その際、市はバスのダイヤ再編時に考慮するとの答弁でした。今年ダイヤの見直しをしていますので、南高を始め利用者の要望を丁寧に聞いたうえで見直しをするように再度求めています。来年度予算に向けての政策要望に盛り込みました。

3-7 ゴミ問題。ボランティア袋での草木を集め焼却している。各家庭でも、草木を可燃ゴミとして出している。市では、草木は二酸化炭素を吸っているから燃やしても自然に負荷をかけないという。私は草木は資源と考えています。全ての方に燃やすべきでないというつもりはありませんが、ゴミを減らすという点でも、市や市民に考えてもらいたいです。

花で有名になっているのは評価できますが、花壇から出る草を堆肥化し循環してパーフェクトではないでしょうか。

花壇から出る草木を堆肥化して再利用していくことは、ゼロカーボンの実現にとって、また「花のまち・えにわ」としても非常に有効な取組だと思います。恵庭市では、「はなふる」ガーデンエリアから出た草木を堆肥化するという取組を試行的に行っています。これにとどまらず市民の庭や畑で出た草木についても、市で受け入れて堆肥化できるような仕組みを作るよう市に要望していきます。来年度予算に向けての政策要望に盛り込みました。

3-8 遠藤牧場の障がい者虐待、恵庭市の対応は不誠実だと思う。

第三者委員会を設置して欲しい。安心して住むことができない。

議会におけるハラスメント事案では、第三者委員会を設置して調査を行いました。ハラスメントがあったという認定はされませんでした。

これまでも柏野が、毎回一般質問を行なっていますが、裁判を理由として答弁を避ける場面が目立ちます。裁判が進行している中では、市が自ら第三者委員会を設置したり、議会が第三者委員会の設置を求めることは難しいものと思いますが、裁判所が客観的な立場から証拠に基づいて判断をするものと考えていますので、裁判を注視し、必要な対応を求めていきたいと思っています。

3-9 子育ての対策が必要なのはわかりが、身寄りのない高齢者の保証人はどうしたら良いのか、相談窓口等の情報がない

単身高齢者の保証人の問題に関しては、これまでも問題提起をしてきており、令和3年に一般質問も行なっています。

高齢者の相談窓口としては、まずは地域包括支援センター（たよれーる）がその役割を担うことになっていますので、お近くの地域包括支援センター（たよれーる）にご相談ください。

たよれーる(恵庭市地域包括支援センター)について,恵庭市ウェブサイト

https://www.city.eniwa.hokkaido.jp/soshikikarasagasu/hokenhukushibu/kaigofukushika/kaigo_koreishafukushi/ippannokatahe/jibunnyakazokunokoto/9689.html

3-10 高速道路に出入りするためのインターが遠く不便。桜森あたりにできればと。

輪厚のスマートインターチェンジから、恵庭インターチェンジまでは距離が11kmほどしかなく、需要が重なると考えられるため、現状では、難しいものと思います。

以前の平成23年版都市計画マスタープランでは、道東道（北海道横断自動車道）に直接アクセスするスマートインターチェンジという記述がありました。戸磯工業団地からは、市街地を通らないと恵庭インターチェンジには行けず、千歳東インターチェンジも遠いことから、一定の需要は見込めると考えられますが、恵庭市都市計画審議会の中では、「(今後)10年間のうちに都市計画決定をするものとは考えにくいことから、方針から削除した」という答弁があり、現在のマスタープランからは削除されています。

令和2年度 第2回恵庭市都市計画審議会 会議録概要, 恵庭市ウェブサイト

https://www.city.eniwa.hokkaido.jp/material/files/group/14/R2-2tokei_gijiyousi.pdf

3-11 ペットがいますが、災害時、どこの避難所でもペット同伴可にしてほしいです。

子供がいない家庭にも恩恵のある市政にしてほしいです。障がい者や高齢者、外国人など弱者はたくさんい

ると思います。

昨年の総合防災訓練において、初めてペット同伴の避難所訓練が行われました。若草小学校の教室を使用して、北海道エコ・動物自然専門学校が飼育する小型犬 5 匹が参加して宿泊に必要な準備や体制について確認できたとともに、ペット同伴の場合の部屋の構成や、避難所滞在時は原則としてペットは常時ゲージに入れる必要があることなども確認しましたが、犬以外のペットに関しては検証されておらず、課題も多いと予想されます。

また、大切な家族の一員であるペットと一緒に安心して避難できる環境を用意することは必要ですが、一方でペットを飼われていない方や動物が苦手な方の理解をどのように得るのかなど、課題はあります。市民の皆さんに意見をいただきながら、具体的な方策を考えていきたいと思えます。

今年、市は避難所運営に女性の声が届いていないとの認識のもと、災害時の備蓄品について女性関連団体にアンケート調査を実施しました。障がい者や高齢者、外国の方も安心して避難できる環境を整備するためには、当事者の声を反映することが重要だと考えますので、当事者アンケートなどの実施を求めていきたいと思えます。

3-12 市営の温水プールを作ってください

・四季を通じて利用できる

・老若男女、子どもから大人、高齢者も利用できる

・軽度であれば身体に障がいがあっても利用できる

<https://maps.app.goo.gl/fAVKpvPeEAXDhy3c8>

市民温水プールへの市民要望があるところですが、既存の一部市民プールが閉鎖されたことを踏まえると、私たち会派としては、広く市民が利用しやすい環境を整えることが重要だと考えています。利用促進策として、利用者が増えていない簡易温水である南高プールを現在の高校生以上の利用にとどまらず、子どもも利用できるように対策するよう求めています。また、マタニティスイミングなどターゲットを絞った教室開設などを提案していきたいと思えます。

恵庭市は、令和 5 年（2023 年）4 月から利用料が千歳市民と同額となった千歳市民プールを利用してもらうように市民に呼びかけています。（利用料：小中学生 200 円、高校生 300 円、大学生・専門学校生 450 円、一般 600 円、65 才以上 300 円、障がい者無料）

5 か所ある市内の市民プール、南高プール、千歳市民プール、それらを市民が利用しやすい環境に整備するよう今後も要望していきます。

3-13 市民の困りごとや市民からの有益な意見・要望を適宜行政が把握し、それを市議会が随時チェックして市政に反映できるようにしてください。

現在裁判中の知的障害者虐待事件において、行政はその事案を把握していなかったと弁明しています。仮に

その弁明が事実だとしても被害者周辺から何らかの SOS は発せられていたこと、育恵会の事務局は恵庭市にあったことから、実情を把握できなかった行政に責任はないとはいえないと考えます。また、恵庭市と障害者相談支援事業を受託している「e-ふらっと」との関係が良くなかったことから (Call4 訴訟資料より)、両者間で良好なコミュニケーションが図られるべくもなく、このことは行政としてあってはならない事態だと思います。

愚痴を含めて行政に対する不満や要望を時折耳にしますが、それらの多くは行政に伝えておらず、また伝わっていないようです。行政への要望事項として年 1 回町内会が取りまとめているのですが、私が属する町内会では回覧板での要望収集ですので、案件によっては提出しにくいのが現状です。

市ホームページ (HP) の設置は、日常生活の困りごとや市政に関することについて、気軽に相談したり、意見・要望がいえるような連絡先を提供することが主目的の一つであると考えられます。札幌市では、HP のトップ画面に「相談窓口」があり、また「市民の声を聞く課」が設置されています。さらに「市民の声を聞く課」では、週に数回の頻度で市政相談、法律相談、司法書士相談、家庭生活相談、不動産相談、税相談、人権相談等について専門の相談員から無料で電話又は面談にてアドバイスをうけることができます。北広島市でも、HP のトップに「各種相談窓口」と「ご意見・お問い合わせ」の見出しがあります。一方、恵庭市では、HP トップの最下段に「お問い合わせ」の見出しがあります。ここからの問い合わせは、メール送信フォームの利用となっていることから、気軽に問い合わせや相談はできないように思います。サイト内検索で相談窓口と検索すると、「各種相談窓口のご案内」がヒットして、ここで初めて電話での相談窓口が示されます。HP トップからこのページにたどり着くには、ホーム>組織から探す>総務部>総務課>住まい・生活>を経ないとここにたどり着けません。また、市政全般についての要望、苦情、意見、生活上の問題などを扱う「市民相談」はこのページの最下段にあり、これらの担当は恵庭市役所 生活環境課だとうまく最後に判明することになります。これでは、HP を利用して日常生活の困りごと等の連絡先を探すことは困難です。行政は市民からの苦情や要望、また意見を受けることを極力避けているのかと疑いたくなります。恵庭市の HP トップに「各種相談窓口のご案内」を配置してください。また、パブリックコメントについても、現在実施中のパブリックコメントは常に HP トップに配置し、より市民の目に触れるようしてください。

恵庭市が有する施設運営の多くが指定管理者に委託されています。前述の恵庭市と「e-フラット」との関係のように、市と指定管理者とのコミュニケーションが果たして良好に実施されているのか、市民から指定管理者に寄せられた様々な相談や意見がどの程度市に伝わっているのか、非常に不安です。

恵庭市は、簡単な行政手続き上の質問を除く市民から寄せられた相談、要望および意見を個人情報保護された上で迅速に一元管理し、随時、市議会議員がチェックできるようにすべきです。市民の困りごとが大きな問題とならないよう、恵庭市はより市民との対話を重視してください。

市民からの意見・要望について、市議会がチェックできているのは、町内会から提出された生活環境改善要望のみです。現状では、各課で受けた市民の意見・要望を集約して議会に報告する仕組みはないため、どのような形であれば可能なのか、調査してみたいと思います。

現在裁判が行われている事案について、市の反論では、虐待通報はなかったとしています。しかし、裁判の

資料などから読み取れる情報からは、市として現状を維持しながら、長いスパンで行き先を探すという方針があったように思います。障害者本人からの通報や SOS がなかったとしても、行政として動かなければいけないケースだと思しますので、市の責任を認め、今後に向けた改善策を示すことが行政の役割だと思います。

相談窓口について、メール送信フォームとしているのは、迷惑メール防止も一因ではないかと思えます。相談は札幌市などのように、対面または電話がよいのではないかと思います。相談先の連絡先がわかるよう、改善を求めたいと思えます。

なお、市では広報紙やウェブサイト（ホームページ）について、市民の立場から意見を述べてもらう「広報モニター制度」を導入しています。具体的な提案やご意見については、この制度を利用させていただくと適宜ご意見を反映できるのではないかと思います。

各種相談窓口のご案内、恵庭市ウェブサイト

https://www.city.eniwa.hokkaido.jp/kurashi/kurashi_tetsuzuki/sumai_seikatsu/16740.html

「広報モニター」って？、恵庭市ウェブサイト

https://www.city.eniwa.hokkaido.jp/kurashi/shiseijoho/koho_kocho/kohomonitor/4168.html

3-14 岡本書店が閉店し、市内に大型書店が無くなってしまったこと。

ネットで本や文具を買える時代とは言え、実際に店舗で見たい時もあります。

大型書店の誘致をお願いしたいです。

心療内科、精神科へのアクセスが悪いこと。難しいかもしれないが、もう少し中心部で通えるクリニックがあると助かります。

岡本書店の閉店は残念に思っています。

ただ、現在も市内には書店があり、市が大型書店を誘致することは、民業圧迫にもなり、難しいものと思います。

道内では、人口2万人の留萌市で、書店がなくなってしまったことから書店を誘致したという事例がありますが、これは市ではなく、市民ボランティアが中心となり、地域と一丸となって取り組んだと聞いています。

大型書店にこういった機能・役割を望むのか、それは例えば図書館や他の公共施設の中で担うことはできないのかなど、実現の余地はあると思えますので、ぜひまちかどトークやその他の場面でもご意見をお聞かせいただければと思います。

心療内科、精神科についても、現状北海道内の医師は不足する傾向にあり、市がクリニックを誘致したりということは非常に難しいですが、可能なこととしては、都市計画の中で、立地適正化計画を作り、駅周辺に都市機能誘導区域を定め、誘導施設として医療施設を定めることにより、民間事業者の誘導を図ることが可能となります。柏野が過去に提案してきましたが、市は7年越しでようやく、立地適正化計画の策定に向けて検討を始めました。

なお、恵庭駅から近い恵庭みどりのクリニックでは、週1回、心療内科の外来を設置しているようですので、

ご確認の上、ご検討ください。

恵庭みどりのクリニック

<https://midorino.or.jp/e-midori/clinic.html>

3-15 3月に第一子が生まれたのですが近所に赤ちゃんと一緒に出かけられる場所が少ないです。柏陽の子育て支援センターのようにえにあすでもハイハイの時期に遊べるヨチハイがあれば嬉しいです。歩道がガタガタだったり、斜めになっていたりしてベビーカーで出かけるのが大変です。

子育て支援センターの利用は5歳までの幼児ですが、現在の取組は、利用するお子さんの年齢の傾向によって決めているため、各センターによって取り組み内容にばらつきがあるようです。しかしそれでは、実施している取組の年齢に該当しないお子さんの参加は難しくなってしまうため、どの年齢のお子さんでも利用が可能となるための対応が必要だと思えます。どのセンターにおいても利用したい方が利用できるよう、市に要望していきます。

道路のバリアフリー化に関しては、整備から年数が経過したこともあり、劣化が著しいところが増えていきます。政策要望にも追加しました。

3-16 駒場体育館跡地福祉施設計画について

駒場体育館跡地福祉施設計画についてということですが、お困りの内容やどのような改善が必要かお聞かせいただければ幸いです。

3-17 身内がグループホームに入っていますが、食事が全て、レンジでチンするもの、レトルト、聞いております。せめて食事はどうか、ホームごとに手作りをお願いしたいと、強く希望します。食の安心、安全、が、心身にとても大事なことだと信じています。どうぞ、よろしくお願いします！

グループホームは民間が運営しているため、現実には空きは少ないかもしれませんが、利用者の選択肢としては多いというメリットがあります。事前にグループホームを見学するなど納得して選択することも重要です。とは言っても、事前の説明と違う場合もあるかもしれません。グループホームへの指導監督は北海道（石狩振興局）となりますが、住民が地域の中で安心して暮らし続ける事ができるよう福祉行政を担っているのは恵庭市です。まずは詳しい状況を市にご相談していただければと思います。もちろん私たち会派（柏野・新岡）にご相談いただいても構いません。

市の窓口：障がい者向け（障がい福祉課） 高齢者向け（介護福祉課）

会派としても、グループホームで生活している高齢者や障がい者の生活の質がしっかり保障されているのか、市として把握するように求めていきます。

3-18 遊水池を含めた河川の維持管理

鹿やアライグマ キツネなどの被害（上の管理が出来ていないからどんどんひどくなる）

田舎の方面の大雪の時の除雪の遅さ

もっと自衛隊との協力体制などいざという時に備え話あって欲しい、（ドカ雪の時などは自衛隊基地周辺や駅までなどの主要な道路の除雪の協力など除雪しないと自衛隊の隊員も出勤できない）

災害時に感じたが、恵庭市職員の恵庭市に住んでいる比率が低すぎるのでは無いだろうか？

恵庭市職員なら恵庭市に住むべき！ 職員も住みたい街にすべき！

職員も住みたい街にすべきというのは、おっしゃる通りだと思います。

市としても平成 27 年から、職員採用に際して、市内居住を要請しており、実際に平成 29 年の予算審査の際には、そうした影響が職員の通勤手当の減少として現れているという答弁がありました。その後も職員の退職、新規採用によって、市内居住率は向上しているものと認識しております。

また、非常時の参集訓練なども実施されており、一定時間内に参集できるよう努めているところです。

自衛隊との協力体制については、雪害の際にも強化を求めてきたところです。残念ながら、生命財産に直接関わる場合に限定されるという答弁でしたが、今後も協力体制の強化については求めていきたいと思います。

有害鳥獣対策については、保管場所の設置など、効率的な捕獲ができるよう対策を講じてきているところではありますが、まだまだ不十分というご指摘を受け止め、どのような対策の強化が可能か、議会一丸となって求めていきたいと思います。

3-19 島松駅そばに支所を新築することですが、一緒に駅も整備してほしいです。特にトリアル側からは一旦跨線橋で反対側に行かなければ JR に乗れません。ほかの駅のように、高架上に改札があるだけでも相当便利だし、高齢者の方も楽になると思います。是非合わせて検討してほしいと思ってます。島松周辺は移住者を中心に人口が増えているように感じるので今後も JR 需要はあると思います。

島松駅の橋上駅化については、平成 23 年（2011 年）から平成 27 年（2015 年）にかけて、協議がされ、2 度の計画変更を経て、橋上駅化を断念した経緯があります。恵庭市としては橋上駅化を強く望んでいましたが、JR 北海道との協議が整わず、断念したものであり、駅ホームにエレベーターが設置されるなどバリアフリー化が進展している中で、再度の計画変更は現実的ではないと考えております。

島松駅周辺整備計画の見直しについて、恵庭市ウェブサイト

https://www.city.eniwa.hokkaido.jp/material/files/group/13/tashisetai_52677055.pdf

3-20 島松駅について、新しい住宅群ができていても関わらず西側へのアクセスや環境整備が悪い（古く使づらい歩道橋があるのみで、駅利用や周辺の発展に繋がりにくいと感じる）。

島松駅の整備については、上記回答の通りです。

歩道橋（自由通路）についても、架け替えを検討したものの、JR 北海道との協議において、北海道新幹線関連工事終了後でなければ事業に着手できない見込みが示されたことから、早期の事業着手に向けて、昇降棟（階段、スロープ部分）のみの整備に変更しました。線路上の橋梁部については、劣化した屋根の張り替えなどを行い、昇降部分については、利用しやすいよう階段の他にエレベーター、エスカレーターが設置される計画です。

3-21 小学校や中学校を好きな学校にいけるようにしてほしい。高校以上無償化にしてほしい。恵庭市に限らず、日本の学校制度を変えないと子供がいなくなり日本人がいなくなる

学区は、子どもたちが安全に学校に通えるように、交通量が多い道路の横断を避けたり、河川状況に配慮したり、地域の実情を踏まえ、市町村教育委員会が決定し、保護者に対して事前に就学通知書や入学通知書で通知することになっています。

一方、学校選択制とは、学校教育に対する保護者のニーズを鑑み、柔軟に学校を選べるように配慮した制度です。学校選択制の導入については自治体の判断に委ねられ、恵庭市においては、学校選択制として松恵小学校を特認校と指定していますが、中学校の特認校はありません。今後、市では特認校制度について検討をする可能性もあるようなので、どのように変化していくのか学校選択制については注視していきたいと思います。高校の無償化については、所得制限はありますが私立高校も含めて授業料は無償化が実施されています。児童手当については今年 10 月から高校生までが対象となりましたが、授業料以外にも通学費など経済的負担が増えるため、会派として市に通学費助成を求めています。また、市は現在、高校生対象の奨学金制度に向けて検討を行っており、来年度中に方向性を固めるとしています。

3-22 農業資材の高騰により、収益が減少している

令和 6 年第 1 回定例会で補正予算が上程され、農業振興費として農業資材や燃料の高騰対策に 1,324 万円が措置されました。その一部は令和 6 年度に繰越されて今年度執行されています。引き続き、必要な農業資材の高騰対策についても求めていきたいと思っています。

補正予算の詳細はこちらです。

小学校4校でエアコンを先行整備、かしわのブログ

<https://kashiwano.info/article-6292.html>

恵庭市農業振興事業実施要綱

https://www1.g-reiki.net/eniwa/reiki_honbun/a032RG00000595.html

Q4 現在の恵庭市の政策について、要望事項があれば、お聞かせください。

4-1 優先順位の決め方が変だと感じることがあります。

誰からの意見でそのようになっているのか、分かりやすく説明してほしい。

政策決定については、最終的には市長判断になりますが、議会や各種団体、市民の意見が反映されています。とりわけ、市民の意見反映については、恵庭市ではまちづくり基本条例に基づいて、市民と協働のまちづくりを進めています。

個別の事業においては、市の政策や方針に市民のみなさんの意見を反映するために、施策を検討する附属機関等を設置して、市民が委員となり議論しています。しかし、委員の年齢や性別に偏りがある、同じ市民が複数の附属機関の委員になる、行政判断の追認機関になる懸念があるなど課題があります。会派としては、適切に市民の声が市政に反映される附属機関の運用がされているのか、しっかりチェックしていきます。

ちなみに、女性の委員が少ないため、附属機関では公募委員として参加される女性、団体を募集しています。「恵庭市女性人材登録」を行うと、附属機関等の委員改選の際に候補の対象となりますので、関心のある女性は是非登録をして、市政に声を届けてください。

現在のまちづくり基本条例について(令和6年4月現在)、恵庭市ウェブサイト

<https://www.city.eniwa.hokkaido.jp/soshikikarasagasu/kikakushinkoubu/kikakuka/machizukuri/3/4/genkounozyourei/1586.html>

恵庭市女性人材登録をしませんか?, 恵庭市ウェブサイト

https://www.city.eniwa.hokkaido.jp/soshikikarasagasu/soumubu/somuka/kyodo_shiminkatsudo_danjokyodosankaku/1/1075.html

4-2 ゴミにかかる費用を減らして教育や福祉に。

焼却施設や最終処分場(埋め立て場)などはすでに整備されており、今後はその借金の返済が必要となります。家庭ごみに関しては、例えば個別収集をやめれば大きな経費の削減につながると考えられますが、料金改定に向けて開催された検討会の中では、公募市民の方なども含めて、個別収集は存続すべきという意見が多数でした。

私たちの会派としては、ごみにかかる経費を削減すべく、本来は事業者が全額負担すべき事業系廃棄物の料金適正化などを求めています。市は、事業者支援のため、多額の税負担は当然という考えです。

4-3 子育て政策はもう充分すぎる位。

それより、市は当たり前の仕事を誠実にしてほしい。

令和元年度と令和5年度の決算で民生費の内訳を比較してみると、

令和元年度 民生費 約100億円

うち老人福祉費 10億円

うち障がい者福祉費 19億円

うち児童福祉費 37億円

となっており児童福祉費は約37%でした。

令和5年度では民生費116億円

うち老人福祉費 10億円

うち障がい者福祉費 25億円

うち児童福祉費 45億円

となっており、児童福祉費の割合は約39%近くまで上昇しています。

これには、国の子育て支援の強化による幼稚園、認定こども園などの無償化などによる影響もあり、単純に自治体予算の中で、子育て政策だけが伸びているわけではありません。

予算全体の配分はもちろんですが、市が当たり前の仕事を誠実に実行してもらえよう、ひとつひとつの事業についてもしっかりとチェックしていきたいと思います。

4-4 ゴミ袋の値段が高い。生ゴミは一度にたくさんでないので、3リットルではもったいなくて、たまるまで置いておくと小バエが発生したりする。1リットル用を作って欲しい。

過去にも同様のご意見をいただき、市には提案をしてきました。袋の製造コストを考えると、小さい容量の袋は赤字（いただいている経費よりも処理コストが高い）となっており、ごみ処理経費の一部を市民に負担していただくという考え方からすると、課題があります。また収集の負担も増加します。

薄手のビニール袋で小分けにさせていただくなどコバエ対策をしていただく、コンポスターによる堆肥化、ダンボール堆肥などを活用していただくことで、生ごみ排出の経費を減らすことができますので、ご検討いただければ幸いです。

4-5 教育子育て分野はもっと攻めの姿勢でもいいのかと。

会派としても、子育て支援の充実は、まちの発展において重要だと考えています。また同時に、高齢者の増加に伴う福祉の充実など、他の行政サービスとのバランスも考慮しなければいけないとも考えます。教育子育ての支援に関しては、ニーズも多様化していますので、どのような支援が必要なのか、ご意見をお寄せいただければと思います。

4-6 ゴミ焼却施設の充実

市民に開かれた、人々の環境に対する意識が高まるような施設にしてほしい

<https://maps.app.goo.gl/AkHVRANVsiZZod59>

高座クリーンセンター環境プラザについて教えていただきましたが、恵庭市のごみ焼却施設でも出前講座の枠組みの中で、5人以上の団体・グループを対象として、施設見学の受け入れは行なっています。また、まちづくりチャレンジ事業などを活用した市民団体主催による市民を募ってのごみ処理施設の見学会なども行われています。

なお、余熱利用の観点からプールなどを設置して、多くの方に来てもらうことについては、当初検討はされましたが、地域からの要望として、集客施設の併設は望まないというご意見があり、設置はしないこととなった経緯があります。

高座クリーンセンター環境プラザ

<https://kouzakankyoplaza.jp>

4-7 札幌市が実施している税理士による「税相談」を恵庭市も是非実施してください。

一般的な税相談は、恵庭市でも税務課で行っています。国税に関する相談は、税務署になります。

札幌市も、税理士による税相談は、北海道税理士会の相談を紹介しているだけです（電話相談）、これは恵庭市民も利用可能です。そちらを利用してはいかがでしょうか。

“Q&A”，恵庭市ウェブサイト

https://www.city.eniwa.hokkaido.jp/soshikikarasagasu/soumubu/zaimushitsu_zeimuka/19706.html

“税務署からのお知らせ”，恵庭市ウェブサイト

https://www.city.eniwa.hokkaido.jp/soshikikarasagasu/soumubu/zaimushitsu_zeimuka/15767.html

“税の無料相談”，北海道税理士会

<https://www.do-zeirishikai.or.jp/consultation/>

4-8 最近外国人が増えていると身を持って感じます。

人手不足の時代ですので、外国人が増えるのはやむ無しと思っておりますが、治安の悪化が心配です。

実際私もドラッグストアで声をかけられ、自宅付近までつきまとわれたこともあります。

治安を招かない、外国人とうまく共生できるような政策を望みます。

まず前提としては、しっかりと市内企業が生産性を向上させ、賃金をあげて、雇用が増えることが望ましい

と思っています。その上で、業種によっては、なかなか賃金の上昇が伴わず、技能実習生などの労働力を必要としていることも事実です。

外国人住民が増加する中で多文化共生の施策はより重要となっており、私たちの会派としてはこれまでも政策要望で求めており、今回も要望に盛り込んでいるところです。

4-9 クラーク博士通りや、うおはん横の歩道のようなベビーカーが押しづらい道が整備されたら嬉しいです。

道路のバリアフリー化に関しては、整備から年数が経過したこともあり、劣化が著しいところが増えていきます。政策要望にも追加しましたが、歩行者の多い歩道などを中心に引き続き、適切な維持管理を求めていきます。

4-10 恵み野駅のイトーヨーカ堂の跡地が、ずっと手付かずなのが気になります。

恵庭市は本のまちなのに、恵庭の本屋さんが閉店してしまい、悲しいです。

市内で本屋さんがいないのは子供達にとっても非常に不便なのは、と、感じております。

医療機関が建設を計画していると聞いていますが、建設資材の高騰などもあり、実施時期については把握できておりません。

書店の閉店については、私たちも残念に思っています。現在も市内には書店がありますが、確かに取り扱う本の数を考えると、多くの本は注文が必要となります。

それだけに図書館の役割はさらに重要になるものと考えています。子どもたちが多くの本に触れられるよう、学校図書館との連携など、読書活動をしっかりと支えていきたいと思えます。

4-11 もっと若者が住んでもらえる政策を増やして欲しい 南幌などのような政策

あと市内の保育園から高校まで市が一環で給食を作って欲しい、子供の貧困対策として行って欲しい

あと大きなお金をかけて作った花ロード恵庭をもっと有効活用して恵庭市にお金を落としてもらえよう
な仕組みをもっともっと作るべき、札幌以外でこれほど人が集まる場所はなかなか無いと思う。

南幌町の移住政策としてはいくつか実施されているようですが、具体的にはどのような政策を希望されますでしょうか。

南幌町は、住宅建設費に対しても助成を行っていますが、過去にかなり大規模な住宅地の造成を行なったものの、思うように販売が進まず、現在のような助成金を継続しているという認識を持っています。

それに対して、恵庭市では、公共交通機関の利便性の高さもあり、人口増・世帯数の増加に対して新たな宅地が不足していることから土地、住宅への需要は高く、近年の土地価格の上昇にもつながっています。

保育園から高校までの給食ということですが、保育園などに関しては、市内の多くの施設は民間施設であり、

規模や年齢構成がさまざまです。年齢にあった食事の提供が必要となり、離乳食などを考慮すると、小学生と同様に考えることはできないため、給食センターで作ることが必ずしも効率的とは言えないと思います。なお保育園などの給食費に関しては、(年齢、所得など区分はありますが) 所得によっては副食費についても無償となっているため、貧困対策としては、すでに実施されているものと考えております。

高校については、公立(道立)と私立ということで、市が実施をすることが可能なのか、どのような方法がとりうるのか、制度について確認をしてみたいと思います。

花ロードえにわの活用については、これまでも提案をしてきたところであり、経済波及効果をさらに大きなものができるよう、実態把握を進めた上で効果的な政策を提案していきたいと思います。

4-12 活動報告にもありましたがルルマップ公園の整備見直しとそれに伴う費用は理解できない部分が多いと感じます。またキャンプ場への転用の話もありますが、他所から多数のキャンプ客が来ることや、近年キャンプ場でのマナー違反等が目立つようで、今はとって平和な西島松周辺が様変わりしてしまわないか、住民としては不安に感じることもあります。

ルルマップ自然公園ふれらんの改修に向けた基本構想では、土地利用の変更としてキャンプ場への転用が掲げられていましたが、直近の委員会での報告では、サウンディング調査の結果として、キャンプ場では採算が取れないとしており、今後の改修は流動的です。

計画の実現性が不透明な中で、パークゴルフ場の廃止のみが決定されており、今後の見通しについては、私たちも大きな懸念を抱いています。

4-13 駅周辺の開発戦略が弱い。住宅群の拡大と商業施設の拡充誘致に一体感がなく、例えば恵み野駅のように、市民の一定数が感じているように、開発戦略の失敗(駅周辺とは思えない発展状況、郊外向けの施設ばかりの進出)が散見される。単純なバリアフリー対策のみならず、中短期的な発展を見据えた戦略的な駅周辺開発が必要

近年、恵庭市の開発としては、市街化区域の編入による住宅地開発はほとんどなく、市街化区域内の大規模用地を民間開発で宅地化してきたところです。結果としてはご指摘の通りですが、GMS(総合スーパー)の衰退は全国的な傾向であり、駅周辺の商業開発がなかったとしても、駅前の大型施設の閉店は避けられなかったのではないかと思います。

恵庭駅西口の再開発、恵み野駅西口の開発を終え、現在は島松駅両側の駅前広場整備などを進めていますが、現在のところ再開発などの計画はなく、商業機能の誘致に関しても、サウンディング調査の結果、民間企業の出店意向は低かったようです。

4-14 ハナフル作ったけど、ホテルとか何の為に作ったのかな？そのための税金なのですか？

花のまちづくりを進めてきた結果、市外・道外から恵庭の花を見に訪れる人が増えてきましたが、見ていただくのは、住宅地や商店街ということで、花を見ていただく拠点として「花の拠点 はなふる」を整備しました。

当初は、事業費も7億円弱で、民間事業者の出店などにより、管理経費も賄えるという説明でしたが、最終的には事業費は24億円ほどに膨らみ、毎年管理経費として約1億円が支出をされています。

ホテルは、都市公園に位置付けされた市の土地を民間事業者に賃貸し、民間事業者がホテルを建設するという仕組みになっており、建設費に対して税金は投入されておらず、土地の賃借料が市に入っています。

Q5 その他、恵庭市議会や市民と歩む会への要望があれば、お聞かせください。

5-1 わかりやすい活動報告書ありがとうございます。

5-2 毎回通信を楽しみにしています。これからもよろしく願いいたします。

5-3 頑張ってください。応援しています。

5-4 市民の小さな声も市政に届けてくださることに感謝しています。市政に対して分からない事などを気軽に質問できる安心感があります。

5-5 通勤の時にかしわの議員さんがかしわのレポートを配っているところをお見かけして、直接頂いていました。これからも頑張ってください。

5-6 定期的な活動報告（チラシ）などから、多々ご活動されているのを拝見しております。今後も市のため・市民のため宜しく願います。

応援のメッセージありがとうございます。これからも定期的に、わかりやすい内容の活動報告をお届けしていきたいと思います。対面での報告会や学ぶ会も継続していきますので、ぜひご参加ください。

5-7 遠藤牧場の件、第三者委員会を設置して下さい。真実が知りたいです。

議会におけるハラスメント事案では、第三者委員会を設置して調査を行いました。ハラスメントがあったという認定はされませんでした。

これまで柏野が、毎回一般質問を行っていますが、裁判を理由として答弁を避ける場面が目立ちます。裁判が進行している中では、市が自ら第三者委員会を設置したり、議会が第三者委員会の設置を求めることは難しいものと思いますが、裁判所が客観的な立場から証拠に基づいて判断をするものと考えていますので、裁判を注視し、必要な対応を求めていきたいと思っています。

5-8 お困りごとの欄に書きましたが、子どもがいないので、家を借りるのにも、入院になった時などの保証人はどうしたらよいか、相談できる課を作ってほしい

高齢者の相談窓口としては、まずは地域包括支援センター（たよれーる）がその役割を担うことになっています。入院の際に、「身元保証人などがいないことのみを理由に、患者の入院を拒否することは医師法に抵触する」という解釈を示しています。実際には、それでも拒まれるケースがあるようですので、そうした場合には、ぜひお知らせください。

今後も身元保証の問題については、窓口や具体的な取り組みを求めていきたいと思っています。

5-9 ゴミの戸別収集は続けて欲しいのですが、ごみ処理料金の値上げは正直、毎日の生活に関わることなの

でキツイです。これから人口増加に伴って変わりゆく点もあるかと思いますが、住みやすい環境を維持しても
raitaitaiです。

私たちの会派では、これ以上の家庭ごみ料金の引き上げは、有料化の当初の目的であったごみ減量にはつな
がらないものと考えています。今後も、ごみや水道など、市民生活に直結した料金が過度な引き上げとならな
いよう注視して参ります。

5-10 市民との対話、地域との対話、いろんな組織との対話を大切に恵庭市に対してしっかり市民をみて、前
向きなお仕事をして欲しい！

これまでは組織や団体に所属しない市民との対話に力点を置いてきました。少しずつ団体などとも意見交換
の場を持つように努めていますので、今後も対話の機会を増やし、できる限り幅広い市民の声に基づいて政策
提案を重ねていきます。

5-11 将来的な発展を考え、駅周辺開発を見直してください。今までに発表いただいている内容は不十分だと
感じています

将来の人口推計や消費行動の変化を考えると、一定の規模がないと駅に商業の集積を図ることは難しい面が
あります。駅周辺開発の見直しについてのご意見をもう少し詳しくお聞かせいただければと思いますので、ぜ
ひ個別にお知らせいただけますと幸いです。

5-12 応援したいと思いますが、自民の街えにわ、困ったものです。。。

党派の枠組みを超えて、共感を広げていけるよう、今後も活動を広げていきたいと思ひます。